

令和6年度 第2回 桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和6年 6月 13日(木) 16:00 ~ 17:15

2 場所 家庭科室

3 委員長あいさつ

・本日の内容について、たくさんの意見をお願いします。

4 学校長あいさつ

・各学年、出前授業を進めている。

・最近暑くなっているため、暑さに体を慣らしていく体力づくりをし、暑さ指数を計りながら活動を進めていきたい。

5 協議内容(○:委員の発言 ●:回答等)

・いじめアンケートの結果及び令和6年度桜島小学校いじめ防止基本方針についてアンケート結果を報告。内容と対応について報告した。

○外国籍児童へのいじめはあるのかどうか。

○内容を聞いていると、昔では取り上げられなかった内容が取り上げられるようになってきている。学年によって多い少ないという傾向はあるのか。

○昨年と比べると、減っているため、落ち着いてきているのではないか。事案が大きくなる前に、その都度小さな手当をしてもらっていったらよいのではないか。

●外国籍児童だからという理由でいじめがあることはない。アンケートの内容から、児童がどんなことで嫌な思いがあるのかを聞き取り、関係児童同士の関係をリセットしていきけるとよい。

○嫌なことを相手に伝えてもそれが続くと、相手に言っても無駄だという話を児童から聞いた。担任の先生が一番言いやすいと思うが、嫌なことを言える場があるといい。何でも相談にのると言ってもらえると安心する。

●放課後や休日などのトラブルが多い。話を聞いても、相手に言わないでほしいと希望されると、学校もできることは少ないが、相談してもらえるとよい。

○ボランティアに入ったクラスで、落ち着かない雰囲気があったので支援が必要と感じた。人手が不足してるなら、増やしてもらえるように学校運営協議会から意見書を出すことも可能ではないか。

○前に、授業で落ち着かず離席してしまう児童がいたが、その児童に付き添ってもらえる人が付いたこともあり、6年生になったときには落ち着いて過ごせていた。

- 特別支援学級が昔に比べて増えている。障がいの程度で基準はあるのか。
- 特別支援学級に在籍するかどうかの明確な基準があるわけではない。
- 授業で制作活動をする際に使用する道具（裁縫セット等）を用意していない児童がいる。道具を購入していないのか、忘れているのか分からないが、道具がないと授業に参加できない。道具を持っていない児童には、何セットか貸出用を用意するなど何か考えられないか。
- 卒業する児童に寄付してもらうことは可能。ある程度数は集まるのではないか。体操服などは、保健室へ寄付をしていた。バザーがあったときは、売り出すこともあった。学校からの貸出道具が増えくると、誰がそれを管理するのか。
- NPO 法人で体操服やランドセル、リコーダー等を寄付してもらって、それをあげている。学校で貸出用を管理するのは大変なので、あげるとよい。
- 貸すとなると、使用後に消毒が必要になるのではないか。
- 児童の道具は、基本的には学校においてある。道具を用意できていない児童がどれくらいいるのか、なぜ用意できていないのか確認が必要である。

6 教育支援課より

- ・いじめアンケートの結果及び令和6年度桜島小学校いじめ防止基本方針について学校から説明があった。学校は、児童同士の関係を大切にしている、トラブルがあった児童同士の関係をリセットするというのがよい。
- ・児童は生活の中で嫌なことがたくさんある。児童同士のトラブルに学校は対応しているので、何かあったら相談してもらえるとよい。
- ・気軽に相談できる場所があればという話があったので、児童に「自分が話せる相手をつくって生活していこうね」と伝えてもらえるとよい。地域の方にも、児童から今日のことなどを話せるようになっていけるとよい。
- ・学習ボランティアの視点からの話があったが、情報共有をして児童たちが落ち着いて学校生活が送れるように進めていけるとよい。

7 その他

- ・学校だより
- ・第3回学校運営協議会 9月19日（木）授業参観・給食試食会
- ・第4回白子中学校運営協議会 11月5日（火）：旭が丘小学校 予定